

『けんちゃんとゲンゴロウ』



12

ゲンゴロウ君 よし！じゃあ、ぼくたちゲンゴロウについて

のクイズを出すよ。

ゲンゴロウの幼虫は、オトナになる前に、「な

に・か」になります。

そのときは、土の中でじーっとしています。

さて、なにになるのでしょうか。

けんちゃん (少し考えてから) わかった。「さなぎ」！

ゲンゴロウ君 正解！ ぼくたちの幼虫は大きくなると、田

んぼの畦を掘って、おうちをつくり、そこで

さなぎになるんだよ。

けんちゃん、畦ってなにか知ってるよね。

けんちゃん 田んぼのすぐ横の、ドロをもりあげたところ

でしょ。ぼく、畦を踏んでこわしたときに、

おじいちゃんにおこられたことがあるから、

よく知ってるよ。

ドジョウ博士 けんちゃん、ゲンゴロウ君たちはその畦がコ

ンクリートでできていると、さなぎになるお

うちがつくれなくて死んでしまうんですよ。

【解説】
コンクリートの畦だと・・・

ゲンゴロウは幼虫と成虫で、まったく違う形をしています。カブトムシやチョウもそうですね。これらは「完全変態」をする昆虫で、「卵ー幼虫ーさなぎー成虫」という段階をふんで成長するので、『さなぎ』になる場所が必要ですよ。

ゲンゴロウの幼虫はさなぎになる時、水から出て、田んぼの畦をよじ登り、畦の土の中にもぐって、さなぎになる部屋をつくります。田んぼの畦が全部コンクリートで固められていると、さなぎになれずに死んでしまうのです。